



就職
サポートガイド!



保護者のための 就職ガイドブック

2023-2024



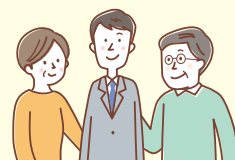
はじめに

保護者の皆さまの中には、お子様の就職活動について心配している方が、少なからずいらっしゃると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響は収まってきたように見受けられますが、今後もオンラインでの企業説明会や面接は、一定の割合で実施されるものと考えられます。

学生の就職活動は、社会・経済状況の変化に大きな影響を受けるため、自身が納得する結果を得るためには、着実に準備をしてのぞむことが大切です。

保護者の皆さまには、お子様の人生の大きな転機となる就職活動を、しっかりと理解し支えていただきたいと考えております。よき理解者・支援者となっていただきますようお願いいたします。



●各学部の就職活動について

地域創生学部

大学での学びを活かし、様々な業界・職種に進むことができます。近年の傾向としては、インターンシップの参加をきっかけに就職活動につなげる学生が増えています。

コースごとに取得できる資格や免許、受験資格があり、教職や管理栄養士等の専門職に就くこともできます。

生物資源科学部

3年生の初めに研究室配属され、2年間という長い時間をかけて研究に取り組みます。専門基礎知識を身につけるとともに「課題発見・解決能力」、「コミュニケーション能力」を養っています。学生時代に学んだ専門知識等を活かせる就職先に多くの学生が就職しています。

●大学院進学について

生物資源科学部では、他学部と比較して、大学院進学の割合が高くなっています。大学院において身につけた高度な「専門知識」や「プレゼンテーション能力」、「研究に打ち込んだという経験」等を評価する企業も多く、その後の就職活動の際にも有用です。

保健福祉学部

保健、医療、福祉の各分野において高度な知識・技能を有し、地域で活躍する専門職として就職することができます。実習を通して就職活動につなげる学生が多いです。

保健福祉学部の就職活動のピークは学科ごとに異なります。地域により差異がありますが、おおまかには次のとおりです。

4年次生
就職活動
ピーク

- 看護学科 3～7月
- 作業療法学科 9～11月
- 人間福祉学科 5～12月
- 理学療法学科 8～10月
- コミュニケーション障害学科 8～12月



本学の就職支援事業を活用してください

就職活動にあたっては、早めに自己分析、企業研究、情報収集などの準備をすることが大切です。

本学では、3年次前期から準備ができるように、就職ガイダンスや業界研究会、卒業生の講話などを実施しています。就職ガイダンスにきちんと出席していた学生は、早めに準備を進めていて、就職活動が始まって余裕をもって活動しています。保護者の皆様におかれましては、お子様に本学の支援事業をしっかりと活用するようにお伝えいただきたいと思います。

Step 1

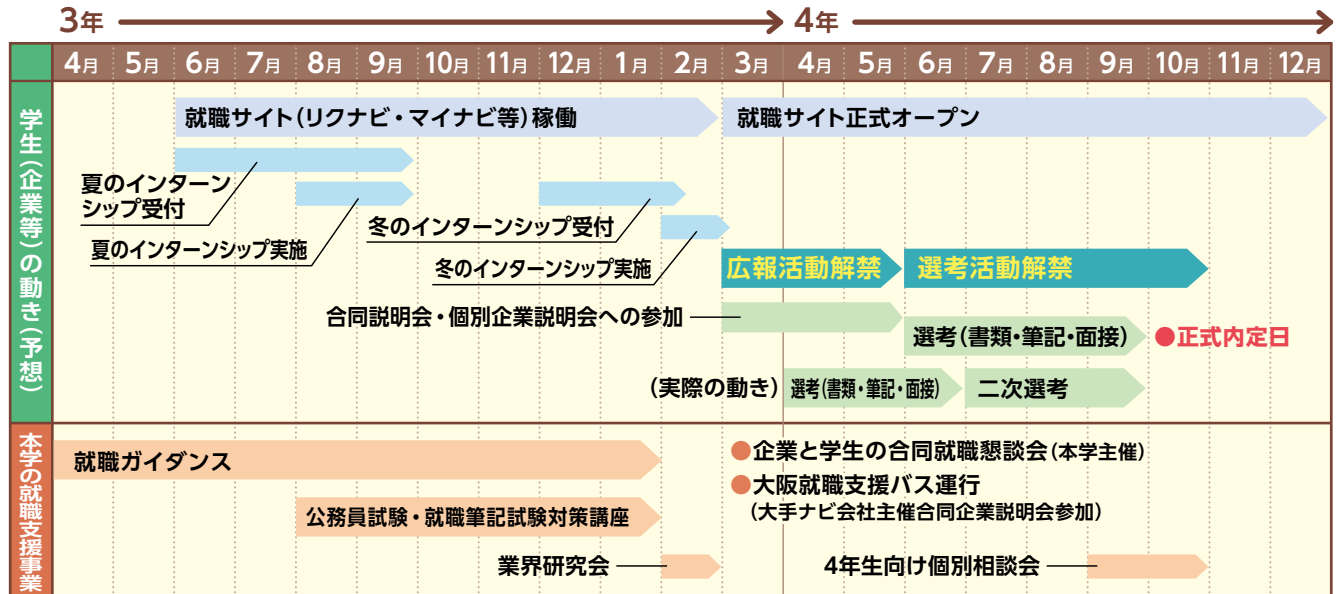
就職活動の現状について知る



● 就職活動のスケジュールについて

就職活動のスケジュールは一斉スタートではありません。

図に示したように、多くの企業が3月1日に採用に関する広報活動をスタートする予定です。しかし、会社説明会や就職筆記試験、面接の日程は企業によって様々です。6月1日から選考を開始する企業もありますが、それ以前から選考を始めている企業も増加しています。



Step 2

企業の選考内容について知る

今の就職活動は保護者の皆様が就職活動をされた頃とは、選考時期や内容・方法が、大きく違っています。その企業に合った人物を採用するために、企業は様々な選考方法を考えています。一般的には、次のような選考が行われています。

● 書類選考

履歴書

エントリーシート

履歴書は本人の履歴を証明するもので、エントリーシートは企業独自の採用のための「自己PRシート」です。エントリーシートは企業ごとに形式や内容が異なり、学生時代の経験や志望動機などを詳しく書くようになっています。また、本学の履歴書でも自分がどんな人なのか相手(企業の人事担当者)に分かってもらえるように、詳しく書かなければなりません。作成には時間がかかるので、早めに取り組む必要があります。

学生はあまり自分に自信がなく、客観的に自分を見るのが苦手なようです。書類を書く際に相談されたら、保護者の皆様は、これまでの成長の中で感じているお子様の良いところ、成長したところについて伝えてあげてください。

● 人物選考

適性検査

個人面接

集団面接

グループディスカッション

人物をしっかりとききわめるため、複数回の面接を実施します。多い企業で8~10回、平均でも3~5回行われています。企業により評価の視点や方法は違いますが、「面接では、第一印象で7割が決まる」と言われています。挨拶、身だしなみ、言葉遣いなどは日頃の習慣が出てしまいがちで、面接練習だけでは克服できない部分もあります。このことについて、保護者の皆様の日頃からお子様へアドバイスしてください。

● オンライン就活

企業説明会

個人面接

集団面接

グループディスカッション



数年前より、対面型の説明会や面接をオンラインで開催する企業が増えてきていました。

企業独自の工夫で、LINEやインスタグラムなどのSNSの活用や、YouTubeなどの動画配信などを取り入れて学生に情報発信することも珍しくなくなりました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、対面型の説明会や面接をオンラインでの開催に変更した企業が急激に増えてきました。

オンライン就活では、以下の3つのポイントがあります。

① ネット環境の準備

ビデオ通信がスムーズに行えるように、自宅でのネット環境を整えることが必要になります。面接中に雑音が入ったり、途切れたりしないように有線ケーブルでの接続やWi-Fiを使用することが良いでしょう。

② パソコン等の機器の準備

オンラインでの説明会や面接では、カメラ・マイク機能があるパソコンを使用することが望ましいです。今使用しているパソコンにカメラ・マイク機能がない場合は外付けのカメラやイヤホンなどを準備しましょう。

③ オンライン面接の対策

実際にビデオ通信を行って、面接練習をしておくことが大事です。カメラ越しにどのように質問に答えるのか、話す内容だけでなく目線や表情なども意識して練習を何回もしておくといいでしょう。

Point

保護者の皆様には、自宅でお子様「オンライン就活」に対応できるように、場所(部屋)の確保やネット環境の整備についてご理解いただきたいと思います。保護者の皆様も日頃はSNSのメッセージでのコミュニケーションをとられている方も多いと思います。時には、ビデオ通話を利用した練習のサポートをしてあげてほしいと思います。

Step 3

お子様のサポートをするためには



● 大学の支援を活用する

本学の就職支援は大変充実しています。各キャンパスに専門資格を持ったキャリアアドバイザーが常駐し、学生からの様々な相談に応じています。お子様に一度キャリアセンターに行ってみることを勧めてください。キャリアセンターを活用している学生は数回面談を受け、しっかり準備し、就活開始後には落ち着いて選考に挑んでいます。

● 保護者がサポーターとなる

本学の支援等についてお伝えしましたが、学生本人の理解において保護者に勝る者はありません。保護者の支えがあってこそ学生も就職活動をしっかりできるのです。社会人の先輩として、助言することや手本になること、支えになることなどは、お子様にとって大きな励みとなることでしょう。

就職活動に関して保護者にしてもらって嬉しかったこと

- 就職活動について真剣に話を聞いてくれたこと
 - 県外就職を希望していたので交通費などの金銭面での支援をしてくれたこと
 - 面接の選考があった日に温かいご飯を作って待っていてくれたこと
- 保護者が当たり前と思ってされていることに、学生たちは心から感謝しています。

Step 4

保護者の皆様に気をつけてほしいこと



● 志望する企業を根拠なしに否定しない

「親が内定した企業をブラック企業と言ったけど本当か?」、「親がこの会社は知らないから受けないほうがいいと言ったので…」、「親がこの業界は厳しいからやめなさいと言ったので…」などという相談が多く寄せられます。



学生は内定した企業や、選考を受けようとしている企業を保護者に否定されるととも傷つきます。そして、その言葉がきっかけで活動が滞ってしまうケースもあります。

日本の企業の99.7%が中小企業と言われており、残りの0.3%の大企業に学生のエントリーが数万人規模で集中していますので、大企業に入社できる学生というのはほんの一握りです。中小企業の中にもたくさんの優良企業があり、多くの卒業生が活躍しています。企業をネームバリューや規模だけで判断するのではなく、事業内容や社風などで見てください。

● 頑張りを認めてあげる

本人が良いと思った企業の選考活動については、まずは応援してください。選考が進むにつれ、その自信が、受験している企業のみではなく、他の企業への選考や内定にも良い影響を及ぼします。内定が1社しかなかった場合であっても、その企業はやりがいをもって輝ける場所であるということで内定が出ているわけですから、共に喜んであげてほしいと思います。

また、「早く決めて安心させて」というような思いを言うことや、他人と比べたりすることは良くありません。就職活動がうまくいってなくても本人の努力は認めてあげ、長い目で向き合ってください。



● 自立を妨げない



「面接会場まで連れて行く」「交通機関の予約をとる」「履歴書を送ってあげる」「一緒に会社を見に行く」「合同説明会について行く」「選考の結果について会社に問い合わせる」といったことをしてあげたいと思うのは親心だと思いますが、これから社会人になる学生にとって就職活動は、スケジュール管理や、会社の方とのコミュニケーション、約束時間や提出期限を守るという、社会人にとって当たり前のことを身に付ける第一歩です。本人が自ら考え、自ら行動することを、適度な距離感をもって、見守ってください。

おわりに

内定までの道のりは長く険しいかもしれませんが、お子様は就職活動を通して、主体的に動くことを学び、自信を深め、周囲の人々と関わり合いながら成長していきます。保護者の皆様は、本人の力を信じ、支え、温かく見守っていただきたいと思います。

本学は、これからも大学全体で就職支援にしっかりと取り組んでいきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

本学の就職支援事業について

本学では、社会に出て活躍できる人材を養成するために、学生支援型キャリア教育プログラムにより、社会で必要となる能力の開発や姿勢・態度の修得に取り組んでいます。

具体的には、就職支援事業として、主に以下のことを実施しています。

2年生 3年生 (一部4年生含む)	インターンシップ	正課科目(全学科2・3年次対象、選択)13回におよぶ実践的な事前教育と、企業・団体等での1週間から2週間の就業体験実習を通じて、企業や社会で必要となる能力、組織で必要となる姿勢・態度を養成し、将来の職業選択に備えて、自らが自己の職業適性や能力などについて深く考える契機とします。
	公務員志望者向け支援	公務員志望の学生には、進路ガイダンスの実施や、学年を問わず対策講座を開講し、さらに専門試験科目の学習を一層促進するため、教員やキャリアセンターが個別にサポートしています。
	教職志望者向け支援	教職志望の学生には、学年を問わず進路ガイダンスの実施や、特別講座や相談会を開講しています。
3年生	就職ガイダンス	3年前期から通年で毎週1回実施。就職活動に必要な心構えやスキルを、マナー講座や模擬面接、グループディスカッションの実践講座等を通じて、実践的に身に付けます。
	就職筆記試験対策講座	学内で開講する就職筆記試験対策講座です。
	業界研究会	企業の方をお招きして、業界についてや職種の理解を深めます。
4年生	企業と学生の合同就職懇談会	学生の企業等研究の促進や職業意識の醸成を図るため、地元企業・団体を中心に採用担当者と学生が直接面談できる本学独自の「合同就職懇談会」を開催しています。
	4年生向け就職ガイダンス	就職活動中の4年生を対象に実践的な内容のガイダンスを実施します。
	個別面談会	就職活動中の4年生を対象に個別面談を実施し、一人一人に合った支援をします。

その他の就職支援事業

キャリアアドバイザーによる相談

広島・庄原・三原キャンパスそれぞれに、専門資格を有したキャリアアドバイザーを配置し、学生の進路・就職全般についての相談や将来のキャリア形成支援に関する情報提供をしています。

※時期によって相談時間を増やすなど、きめ細やかな対応をしています。

キャリアセンターでは様々な支援事業を通じて、学生一人一人に合った支援をしています。

キャリアセンターはいつでも学生の皆さんをお待ちしています。